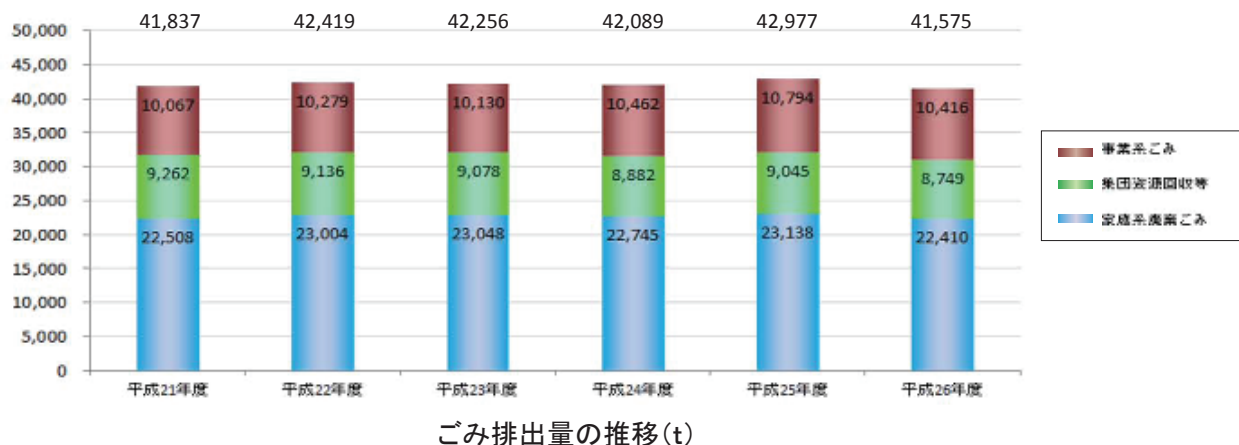


第3章 ごみの排出・処理の状況

1. ごみ排出の状況

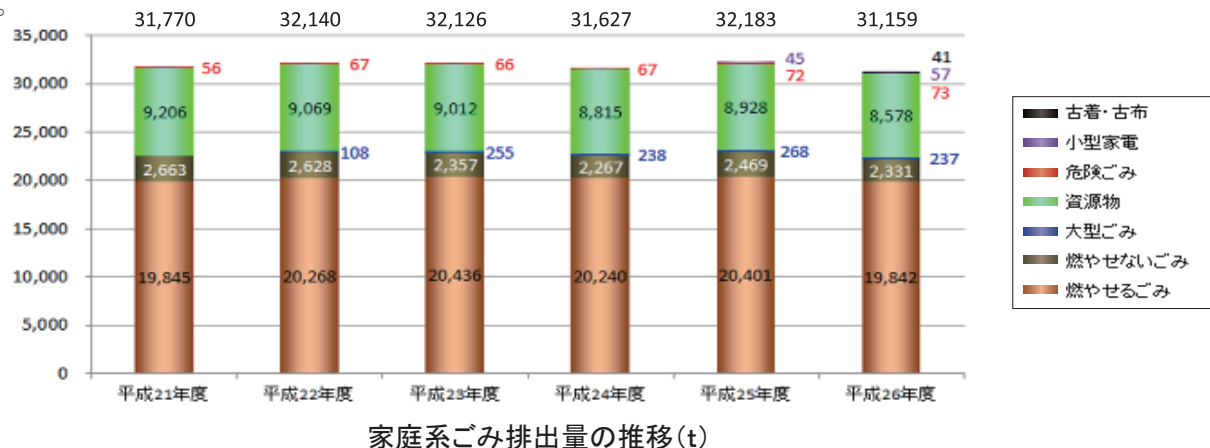
(1) ごみ総排出量の推移

ごみの総排出量は平成21年度から横ばいの状態で推移しています。



(2) 家庭系ごみ排出量の推移

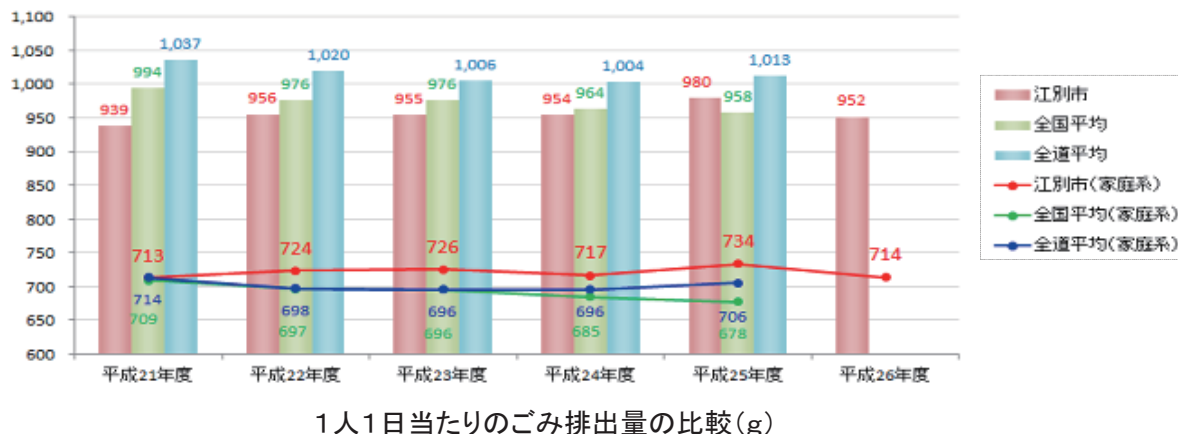
家庭系ごみの排出量についても総排出量と同じく、平成21年度から横ばいの状態で推移しています。



(3) 1人1日当たりのごみ排出量*の比較

1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は、平成22年度から全国・全道平均を上回っています。

また、1人1日当たりのごみの排出量は、平成24年度まで全国・全道平均を下回っていましたが、平成25年度は全国平均を上回っています。

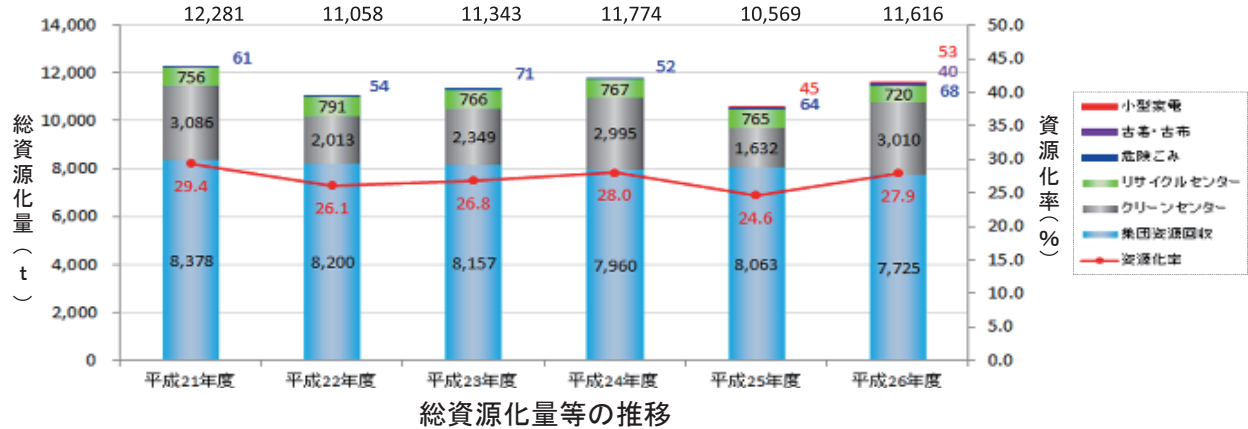


* 1人1日当たりのごみ排出量算式：
$$\frac{\text{排出量}}{\text{年間日数} \times \text{人口}}$$

2. 資源化の状況

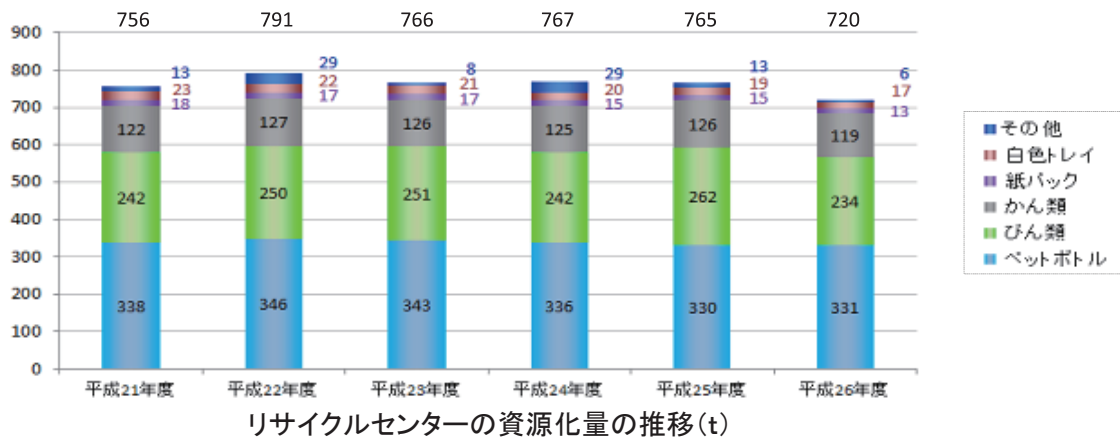
(1) 総資源化量の推移

総資源化量は平成25年度に若干減少しましたが、概ね横ばいで推移しています。



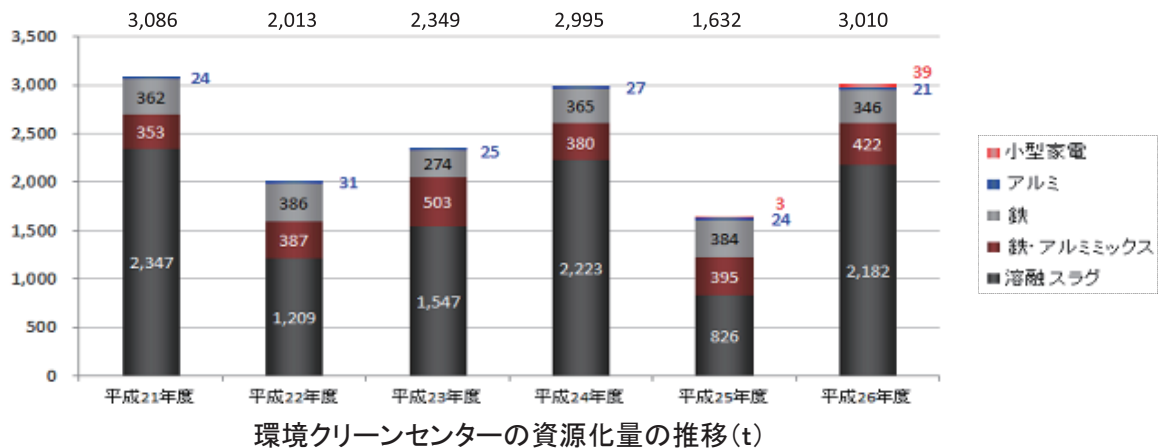
(2) リサイクルセンターの資源化量の推移

リサイクルセンターの資源化量が総資源化量に占める割合は、6%~7%で推移しています。



(3) 環境クリーンセンターの資源化量の推移

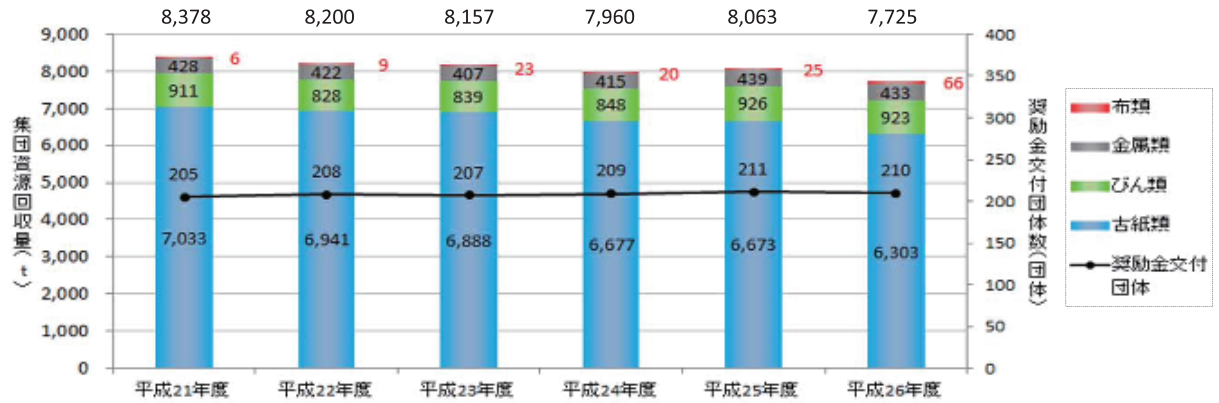
環境クリーンセンターの資源化量は、公共工事等での溶融スラグの使用量に影響を受けます。平成26年度は、182トンのスラグが使用されました。



(4) 集団資源回収の推移

自治会やPTA等の地域の団体が取り組む集団資源回収について、江別市は、その推進のため、回収を実施する団体に奨励金（3円/kg）を交付して支援しています。

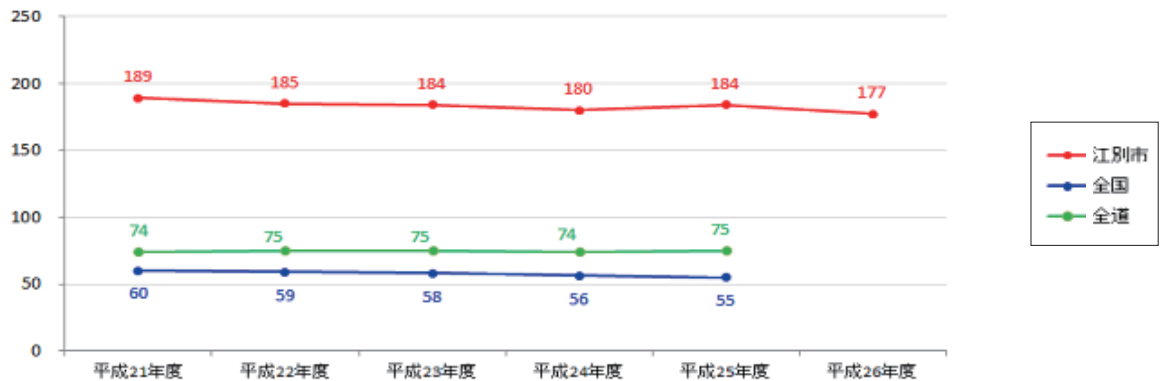
奨励金交付団体数は約210団体前後で推移していますが、新聞や雑誌等が多くを占める古紙類は、インターネットの普及など、情報を得る手段の多様化により減少していることから、集団資源回収全体の回収量も減少傾向となっています。



集団資源回収量等の推移

(5) 1人1日当たりの集団資源回収量の比較

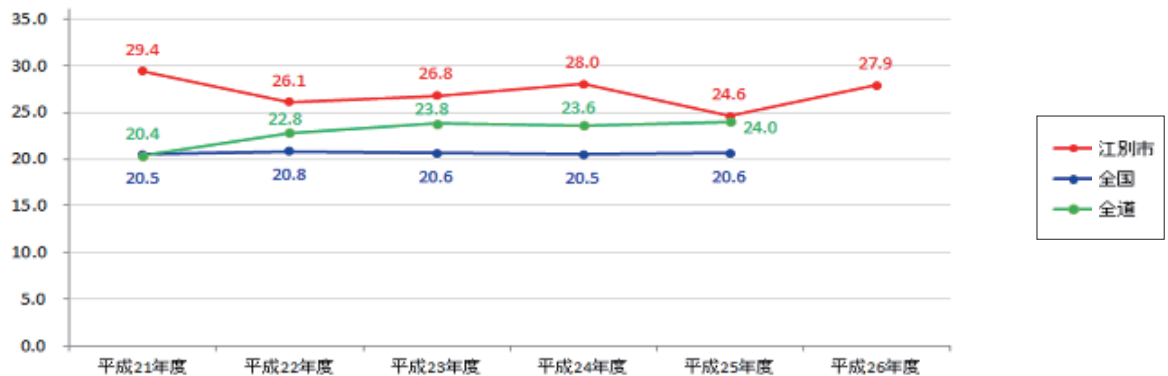
1人1日当たりの集団資源回収量は、全国平均の3倍、全道平均の2倍で推移しており、市民の資源化に対する意識の高さがうかがえます。



1人1日当たりの集団資源回収量の比較 (g)

(6) リサイクル率（資源化率）の比較

リサイクル率については、江別市の集団資源回収量が多いこともあり、全国・全道平均を上回る状況で推移しています。

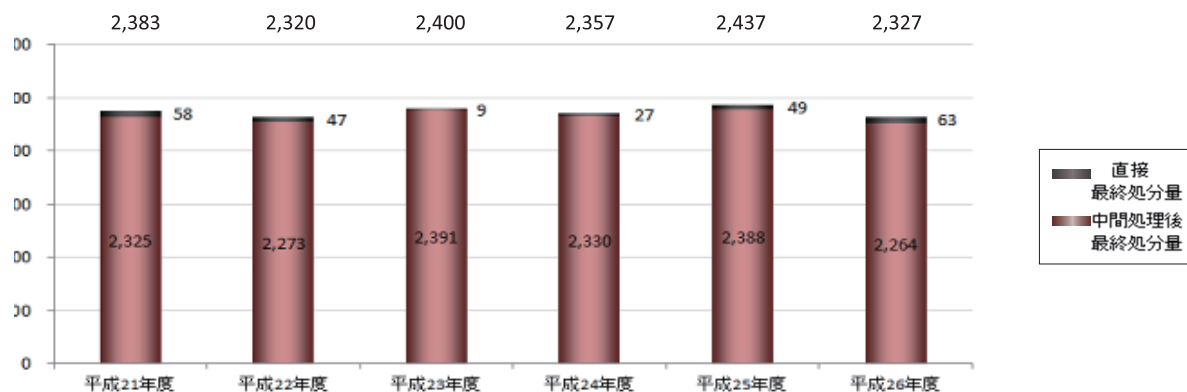


リサイクル率の比較 (%)

3. 最終処分状況

(1) 最終処分量

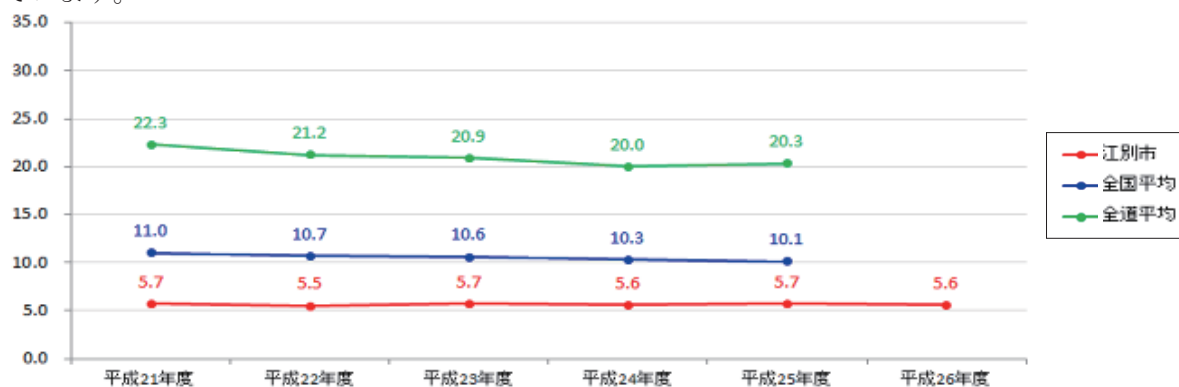
最終処分場に埋め立てられるものは、環境クリーンセンターで中間処理した後に出る残渣が最終処分量の約97%を占めています。



最終処分量の推移(t)

(2) ごみ最終処分率の比較

ごみ最終処分率は、ごみの総排出量の5.5%から5.7%で推移しており、全国・全道平均を大きく下回っています。



ごみ最終処分率の比較(%)

(3) 最終処分場残余容量の推移(覆土含む)

最終処分場の残余容量は、埋立てる廃棄物を種類に応じて、重量から体積に換算して算出した残余容量(積算値)と、毎年度測量した残余容量(測量値)がありますが、どちらの値も当初計画値を上回っています。



最終処分場残余容量の推移(m³)